

第61号 通巻11巻第6

1992年3月31日 発行

守山市立埋蔵文化財センター

☎ (0775) 85-4397

〒 524-02

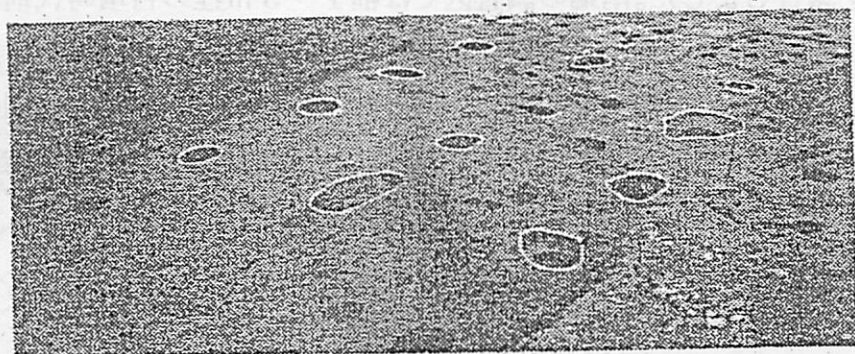
守山市服部町2250番地



豪族の居館発見

1. ^{しもなが}下長遺跡

古高町に所在する下長遺跡の発掘調査を2ヶ所で行いました。ここでは、古墳時代前期の豪族の居館^{きよかん}とみられる遺構を検出するなど多くの成果を上げることができました。調査場所は図のとおり工業団地内（調査1）と新たに工業団地として造成される水田地（調査2）です。



大型掘立柱建物



区画溝と掘立柱建物群

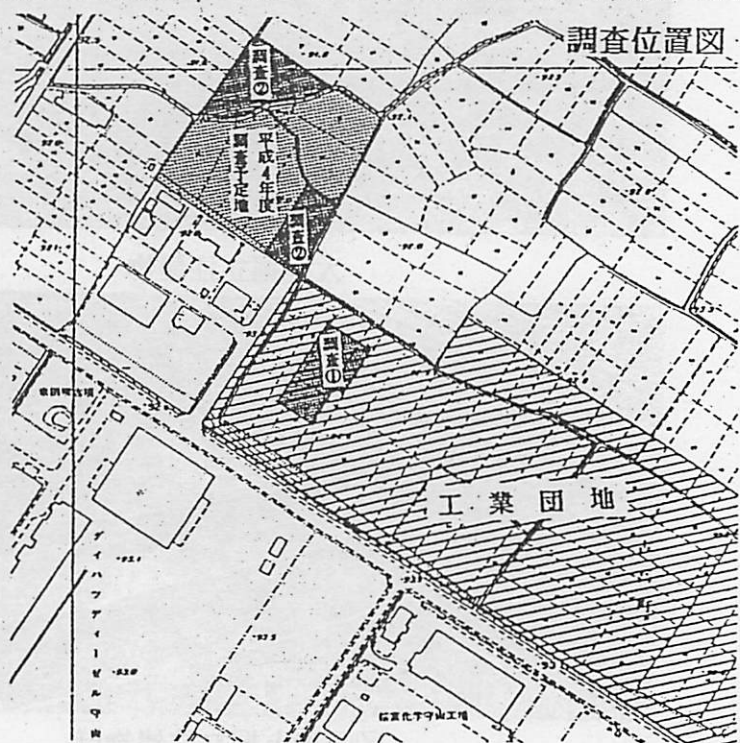
【調査1】

「乙貞」第60号で中間報告した調査も12月26日に終了しました。平成元年度から工業団地に関連する発掘調査はすでに10件を数え、これまでに縄文時代晩期^{ばんき}～古墳時代、平安時代、江戸時代の遺構・遺物がみつかっています。中でも、古墳時代前期の集落は規模が大きく、^{たてあなじゆうきよ}堅穴住居よりも先進的とされる掘立柱建物^{ほったてばしらたてもの}で構成されているなど、かなり有力なムラであったことがわかってきています。今回の調査でも古墳時代前期の遺構が検出され、集落がさらに広がることが確認されました。みつかった遺構には大型の建物（3間×2間、床面積約40㎡）や区画溝があり、他の地域での検出例から有力者（豪族）の居館ではないかと推測されています。

【調査2】

1月6日から2月末まで、約10,000㎡の造成範囲のうち南北端2ヶ所、約3,000㎡を調査しました。南端の調査区では幅1～3m程の古墳時代前期の自然流路^{しぜんりゅうろ}が3条^{はじき}みつきり、土師器や木器が出土しました。これまでの調査で検出されている大規模な旧河道^{きゆうかどう}の一部と考えられます。また、北端の調査区からは幅70cm・

深さ1mの溝1条と柱穴が数個みつかっただけで、調査1のような高い密度の遺構は検出されませんでした。おそらくこのあたりが、下長遺跡の北辺と考えることができます。4月以降、残りの造成予定地を調査します。昭和58年に実施した南西隣接地の調査で



^{すもんきよう}
 は2点の素文鏡や
^{けんがたくはいひん}
 剣形木製品といっ
^{まいし}
 た祭祀（まつり）
 に使われた道具が
 出土しており、古
 墳時代前期に下長
 遺跡のムラの北側
 で、祭祀（まつり）
 が行われていた
 可能性もあると考
 えられています。
 今後の調査でこの
 地域の様子を明ら
 かにしたいと思い
 ます。

(岩崎)

大型掘立柱建物

区画溝

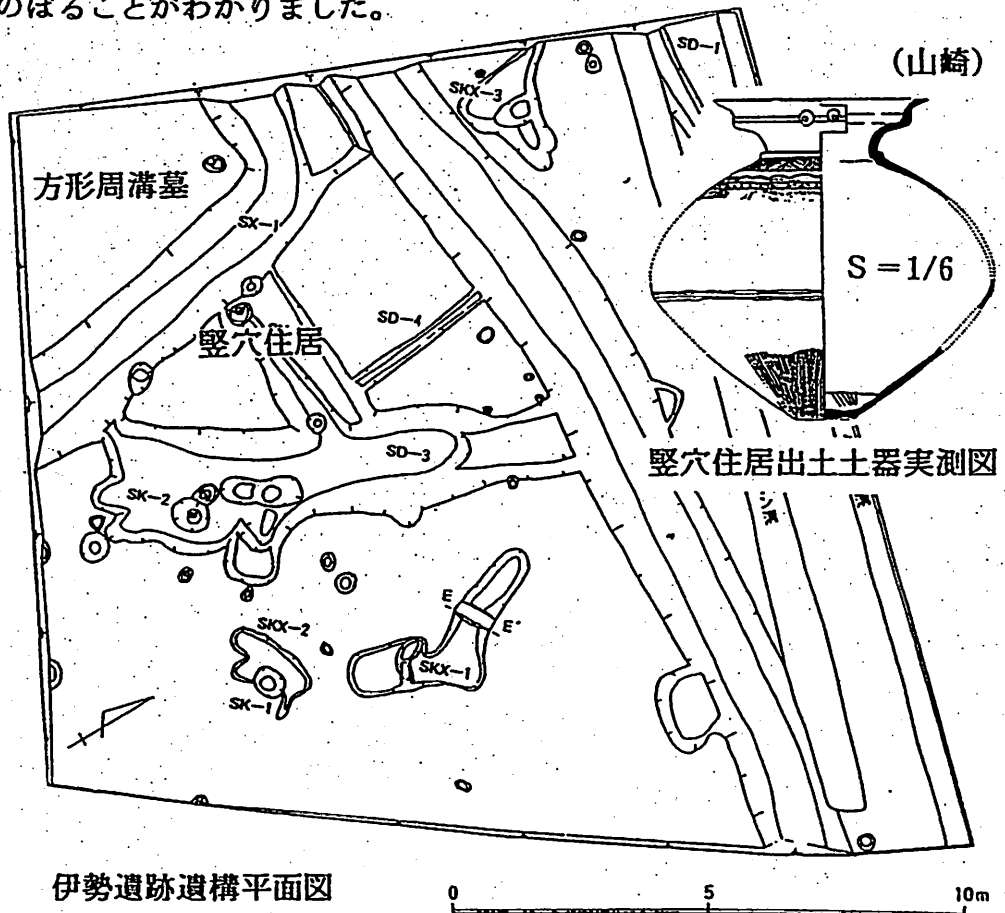


下長遺跡(調査1)遺構平面図

古墳時代初頭の 竪穴住居と方形周溝墓

2. 伊勢遺跡

伊勢町字井上で、個人住宅建築に伴い2月に調査を実施しました。その結果、古墳時代初頭の竪穴住居^{ほうけいしゅうこうば}と方形周溝墓^{どこう}が1基、古墳時代後期の溝と土壌^{どこう}がみつかりました。竪穴住居は方形周溝墓と他の溝によって一部が壊されていましたが、一辺4.7mの方形住居と考えられます。柱穴は4つあり、北辺には排水用とみられる周壁溝^{しゅうへきこう}が掘られていました。方形周溝墓は一部を検出ただけで規模は不明瞭ですが、一辺10m近いものと思われます。なお、この地点で縄文時代晩期の深鉢片・石鏃^{よかばち}・石鏃^{せきぞく}（やじり）と弥生時代中期の土器が出土し、これまで考えられていた伊勢遺跡の年代がさらに古くさかのぼることがわかりました。



☐ 古墳時代後期の集落遺跡の調査

3. 阿比留遺跡

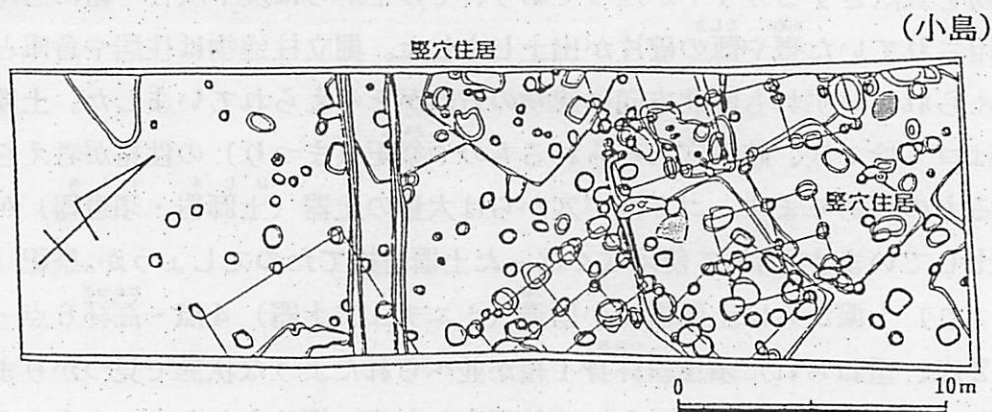
道路建設に伴い12月から実施していた阿比留遺跡の調査も3月30日に終了しました。阿比留遺跡はこれまであまり調査例がなく、実態がよくわからなかったのですが、今回の調査でその様子をかなり明らかにすることができました。以下、その概要を報告します。

今回の調査では上層で平安時代から鎌倉時代、下層で古墳時代後期の集落跡が見つかりました。遺跡の東西には旧河道があり、これに挟まれた微高地上にこれら集落が立地していることがわかりました。

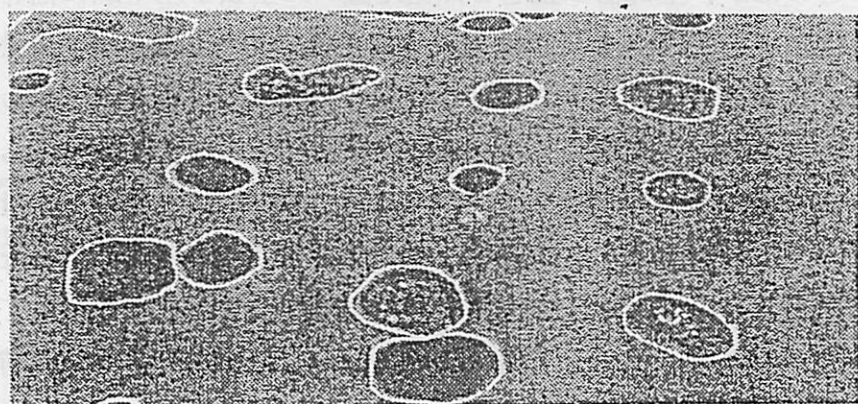
古墳時代後期の集落は東西150mの規模で、竪穴住居15棟、掘立柱建物20棟をはじめ、溝や土壌が多く見つかりました。ほとんどの竪穴住居には食べ物を煮炊きするカマドが残っており、その中からは炭や灰と一緒に当時使用されていた甕や甑の破片が出土しました。掘立柱建物は住居や倉庫と考えられ、いずれも南北方向に建物の方向がそろえられていました。土壌にはゴミ捨て穴、貯蔵穴とみられるものや祭祀（まつり）の性格が考えられるものがあります。ゴミ捨て穴からは大量の土器（土師器・須恵器）が出土しています。割れて使えなくなった土器を捨てたのでしょうか。祭祀（まつり）土壌からは土師器の小型壺（ミニチュア土器）4点・高杯6点・鉢2点、重ねられた須恵器杯身1組が並べられたような状態で見つかりました。何らかの祭祀（まつり）に使用された後、埋められたものと考えられます。このほか、土師器の甕を2点据え置いた土壌1基や底に幅40cm・厚さ2cm程の板を四角く組み合わせたもの2基（中から貝や種が少量出土している。）が見つかりしています。これらの性格はよくわかりませんが、前者については何かを貯蔵しておく施設か祭祀（まつり）に関係するもの、後者については井戸の可能性が考えられます。遺物では土器のほか滑石の原石・チップ（削りかす）・紡錘車（糸を紡ぐ時のはずみ車）や白玉などの製品が出土したことから、小規模ながら集落内で玉作りが行われていたことが想像されます。以上、遺構の状態や出土した遺物から6世紀前半頃に竪穴住居を中心とした集落が営まれ始め、その後6世紀後半頃に建物の主

流が掘立柱建物に変わったとみられます。次に平安時代の遺構は掘立柱建物2棟と溝1条があります。建物1は2間×2間の規模で倉庫と考えられ、柱穴内から多量の炭と焼土にまじって、ばらばらになった須恵器の甕・壺や灰釉陶器（草木の灰を水に溶かして上薬にした陶器）壺などの破片が出土しました。状況から建物が廃絶した後、柱穴に炭・焼土・須恵器甕の破片を埋めたもので、建物廃棄時の祭祀（まつり）の跡とも考えられます。鎌倉時代の遺構は掘立柱建物1棟と溝が見つかっただけで、平安時代と同様、この地点が当時の集落の縁辺であったことがわかります。

このように阿比留遺跡は古墳時代後期、平安時代、鎌倉時代の集落遺跡であり、特に古墳時代後期には栄えたことがわかりました。今後周辺の調査が進めば、さらにその様子も明らかになるでしょう。



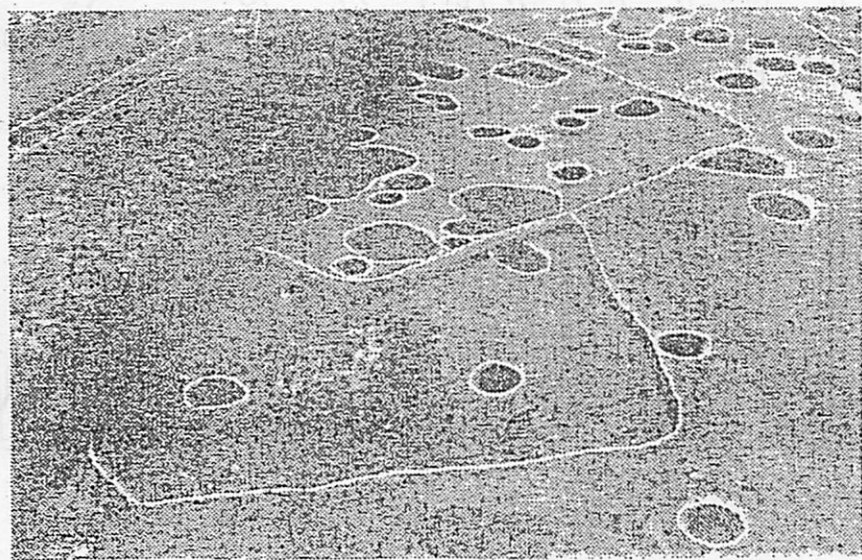
阿比留遺跡西側調査区遺構平面図



平安時代の掘立柱建物(柱穴には多量の炭と土器の破片が埋まっていた)



古墳時代後期の土壙（多量の土器が廃棄されている）



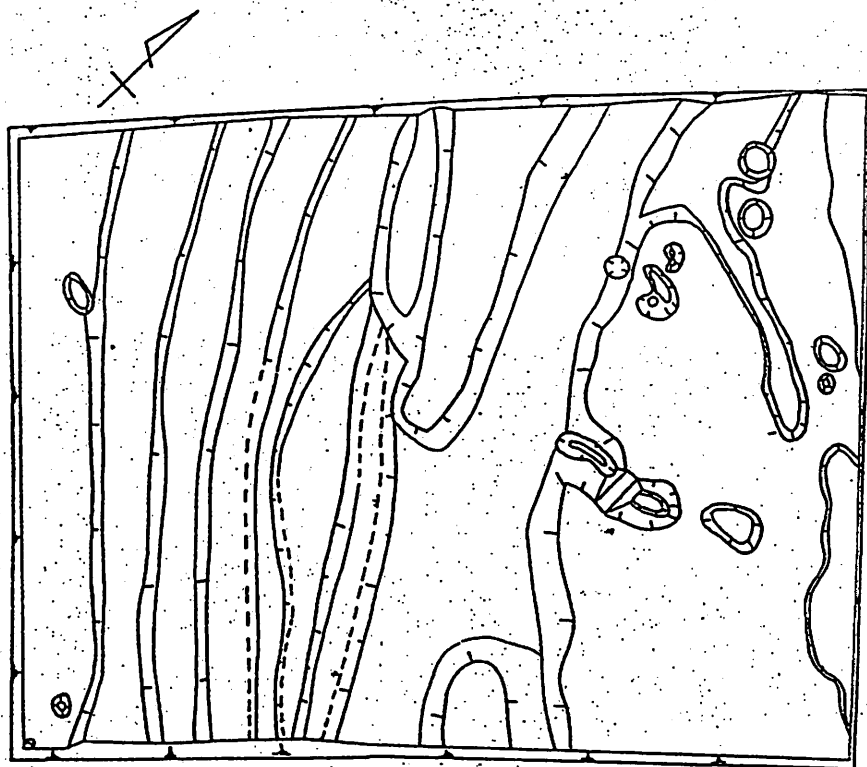
古墳時代後期の竪穴住居（建て替えのため2棟重なっている）

㊦ 多量の平安時代の土器を発掘

4. 播磨田西遺跡

下之郷町字金屋で個人住宅建築に先立って発掘調査を実施しました。その結果、水田耕作土のすぐ下で古墳時代と平安時代の溝・土塹・柱穴などが見つかりました。溝は幅5m・深さ20cmの規模で、堆積状況から大きく3回の流れの変化があったことがわかります。溝に堆積した砂の中からは平安時代の土師器皿・杯、須恵器杯、^{つぎ}緑釉陶器皿・碗などが多量に出土しました。播磨田西遺跡はこれまで古墳時代の集落跡として知られていましたが、今回の調査によって新たに平安時代の集落が存在することがわかりました。

(山崎)



播磨田西遺跡遺構平面図

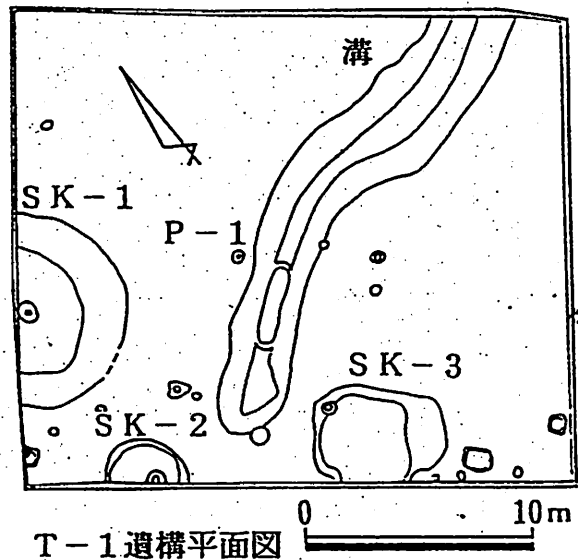
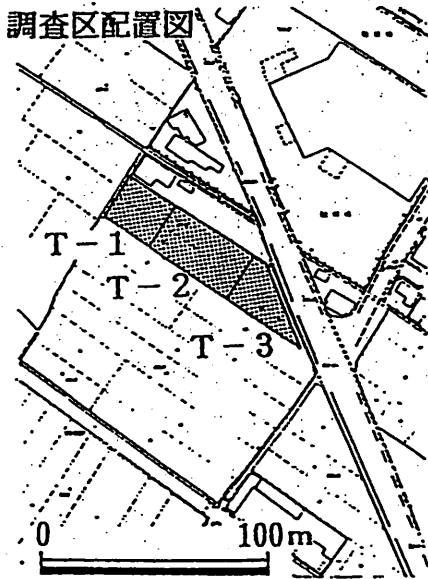
① 調査中 ①

5. 酒寺遺跡^{さかてら}

播磨田町字夕気312番地で、店舗用地造成事業に先立つ調査を2月17日から実施しています。調査の関係上、T-1・T-2・T-3の3つに調査地を区切り、発掘を進めています。T-1からは溝・土壇・柱穴が見つかり、溝は幅約1.5m・深さ80cmの規模で、北東の壁面からS字状に曲がり、途中で途切れています。時期は溝底近くから出土した土器から弥生時代中期後半頃と考えられます。また土壇（SK-1～3）からも弥生時代中期後半頃の遺物が出土しており、溝と同じ時期であろうと考えられます。この土壇は土地区画整理に伴う調査で見つかった方形周溝墓^{ほうがいしゅうこうぼ}の一部ではないかとみられます。柱穴は建物として復元できませんでしたが、古墳時代後期の時期と考えられます。P-1からはほぼ完形品の須恵器杯身が出土しています。

次にT-3からは方形周溝墓2基以上と柱穴が見つかり、現在、方形周溝墓の1基が掘削中で、溝底から弥生時代後期の遺物が出土しています。調査は4月も引き続いて行われますので、次号ではさらに詳しい報告ができると思います。

(畑本)



6. 川田遺跡

12月からチッソポリプロ繊維守山工場内で工場増築に伴い、3,600㎡を対象に発掘調査を実施しています。この関係の調査は昭和61年から開始され、今回で5度目になります。これまでに野洲川の洪水で一夜にして全村が流失してしまったと伝えられる幻の村（合村）の一部が見つかったり、前方こうえんふん後円墳や馬形・人物形埴輪などが発掘されています。今回の調査では鎌倉時代の掘立柱建物や屋敷を区画する溝、それに牛馬の足跡などが見つっています。昨年度行われた調査では、今回発見された建物に近接するところから仏像台座部分にあたる蓮弁や墨書き文字のある河原石などが出土していることから、宗教関連の建物ではないかと注目しています。

(川畑)



発掘調査位置図

平成3年度 市内遺跡発掘調査一覧

遺 跡 名	調 査 地	期 間	原 因	時 期	面 積
塚之越遺跡	古高町字塚之越252	4	倉庫建築	弥生中期、平安～鎌倉	843
八ノ坪遺跡	播磨田町字南横田676-1	4	店舗建築	弥生中期	2363
八ノ坪遺跡	播磨田町字八ノ坪673-3、4	4～5	宅地造成	縄文晩期、古墳前期	240
八ノ坪遺跡	播磨田町京法花寺763	5	アパート建築	弥生中期、古墳前期	180
八ノ坪遺跡	播磨田町字塚越439外	3	店舗建築	縄文～古墳	200
益須寺遺跡	吉身町字藤ノ木30-1	4	マンション建築	弥生後期、奈良	800
益須寺遺跡	吉身町字泉海道194-1外	6～8	アパート建築	奈良、鎌倉	830
益須寺遺跡	立入町字吉身海道216外	6～9	小学校建設	古墳前期、鎌倉	3500
古高城遺跡	古高町字東門前20	5	市営アパート建築	弥生後期～古墳前期	1900
下之郷遺跡	下之郷町字井ノ上635-2	4	駐車場建設	弥生中期	165
吉身西遺跡	守山町字南高田1326	4	個人住宅建築	古墳後期、平安	148
吉身西遺跡	守山町字南高田483-3	4	個人住宅建築	古墳～平安	456
吉身西遺跡	守山町字南高田1273-1、2 1274-1、2	7～8	個人住宅建築	鎌倉、江戸	900
吉身西遺跡	下之郷町字上高田592-1外	10～11	福祉保健センター	縄文、古墳前期	1980
吉身西遺跡	下之郷町字八作654-1	11～12	倉庫建築	古墳前期、後期	2245
吉身西遺跡	守山町字灰ヶ町1222外	12	アパート建築	古墳前期	250
酒 寺 遺 跡	播磨田町字上駒380-1	6	宅地造成	弥生中期	500
酒 寺 遺 跡	播磨田町字松田外	7～3	土地区画整理	弥生中期～古墳後期	12000
酒 寺 遺 跡	播磨田町字夕気312、313	2～	店舗用地造成	弥生中期～古墳後期	2026
下 長 遺 跡	古高町字四ツ口571-1外	4～7	工場建設	縄文晩期、古墳前期	400
下 長 遺 跡	古高町字四ツ口571-2外	4～7	工場建設	古墳時代前期	1200
下 長 遺 跡	古高町字桃ヶ本670-13外	4～7	工場建設	古墳時代前期	200
下 長 遺 跡	古高町字北ノ田463-1	8～11	工場建設	弥生後期～古墳前期	1000
下 長 遺 跡	古高町字北八重788-5外	11～12	工場建設	古墳前期	2000
下 長 遺 跡	古高町字エカ塚768外	1～2	工業団地造成	古墳前期	3000
山賀西遺跡	杉江町針ノ木1350	7	個人住宅建設	古墳後期、鎌倉	401
古 高 遺 跡	古高町357	8	中学校増築	古墳前期	300
古 高 遺 跡	今宿町字口津田470-1	6～10	宅地造成	縄文晩期、弥生後期 古墳前期、平安～鎌倉	3365
経 田 遺 跡	今宿町428、430	10	個人住宅建築	古墳前期	330
吉身南遺跡	浮気町字梅田筋268	10	事務所建築	古墳中期	250
二町鎮遺跡	二町町字堂ノ内216-1外	8～10	道路建設	鎌倉～室町	1600
吉身北遺跡	梅田町字八ノ坪34-1外	12	診療所建築	古墳後期	886
阿比留遺跡	小島町字三ノ坪1612-4外	12～3	道路建設	古墳後期、平安～鎌倉	3150
伊 勢 遺 跡	伊勢町字井上125	2	個人住宅建築	古墳前期、後期	330
播磨田西遺跡	下之郷町字金屋382-4	3	個人住宅建築	古墳後期、平安	195
川 田 遺 跡	川田町字南山の中193外	12～	工場増設	鎌倉	3600



☆ 平成4年度春季特別展開催のお知らせ ☆

市立埋蔵文化財センターでは下記のとおり特別展を開催いたします。今回の特別展は「平成3年度調査速報展」と題して、平成3年度に行われた発掘調査の成果を広く皆様にご報告するために企画したものです。期間中には講演会・スライド会といった催しものの他、拓本を題材とした体験学習コーナーも設けられます。春のひととき、当センターでの時間旅行を楽しまれてはいかがでしょうか。

記

開催テーマ 「平成3年度調査速報展」

開催期間 平成4年4月29日(祝)～5月10日(日)

開催場所 守山市立埋蔵文化財センター

開館時間 午前 9:00～午後 4:00 (期間中は無休です)

主な展示品 吉身西遺跡の鳥形埴輪、円筒埴輪

酒寺遺跡の石鏃、弥生土器、須恵器

下長遺跡の土師器、白玉、ガラス玉

阿比留遺跡の土師器、須恵器、紡錘車

など12遺跡から見つかった約200点の遺物や写真パネル等を展示します。

開催行事

スライド会 「平成3年度調査速報展」

4月29日(祝) 午後 2:00～

講演会 「日本最古の公文書－中主町湯ノ部遺跡の調査から－」

滋賀県文化財保護協会主任技師 浜 修 氏

5月10日(日) 午後 2:00～

体験学習コーナー 「拓本に挑戦!!」

4月29日、5月3日、4日、5日、10日

(ただし、4月29日、5月10日は午前中のみ開催)

※ なお、4月27日、28日、5月11日は展示替えのため休館いたします。